

PSB-HD020

取扱説明書

PSB-HD020 (HDD ユニット) は(株)デジタル製ビルトインコンピュータ PS-2000B シリーズ (以下 PS-B と称します) 用のハードディスクユニットです。2.5 型 20G バイトハードディスクを搭載しています。

対応機種 : PS-2000B シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Pro-face : (株)デジタル

MS-DOS, Windows : 米国 Microsoft 社

安全に関する使用上の注意



- PS-B への取り付け時は感電の危険性がありますので、PS-B に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- PSB-HD020 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- PSB-HD020 を取り付ける際には、本書の「3.PSB-HD020 の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

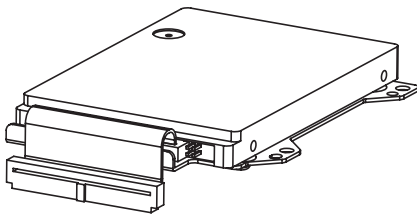
- PSB-HD020 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶついたりしないでください。また、操作盤等に、PSB-HD020 を搭載した PS-B を取り付けられた状態での輸送は絶対におやめください。
- PSB-HD020 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。

- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 修理や改造を行わないでください。
- ・ PSB-HD020を組み込んだシステムの通電中の持ち運びは絶対におやめください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。ハードディスク本体が破損します。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。
- ・ メモリリークを防ぐために、定期的にOSを再起動してください。

梱包内容

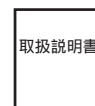
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PSB-HD020 本体



取扱説明書 1枚(本書)

PSB-HD020 取扱説明書



取り付けネジ 4本



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

性能仕様

総記憶容量	20Gバイト
平均シーク時間	12msec (TYP)
消費電力	起動時 4.5W (TYP)
	R/W時 1.6/1.6W (TYP)
	待機時 0.2W (TYP)
インターフェイス	ATA
寿命	5年間または、20000時間（通電時間）のいずれか早い到達期限まで
質量	約200g

- 重要** ・ HDDユニットには、寿命があります。万一のHDDユニットの故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用HDDユニットの用意をお勧めします。
- ・ HDDユニットの寿命は使用条件や環境により前後します。上記値は参考値です。

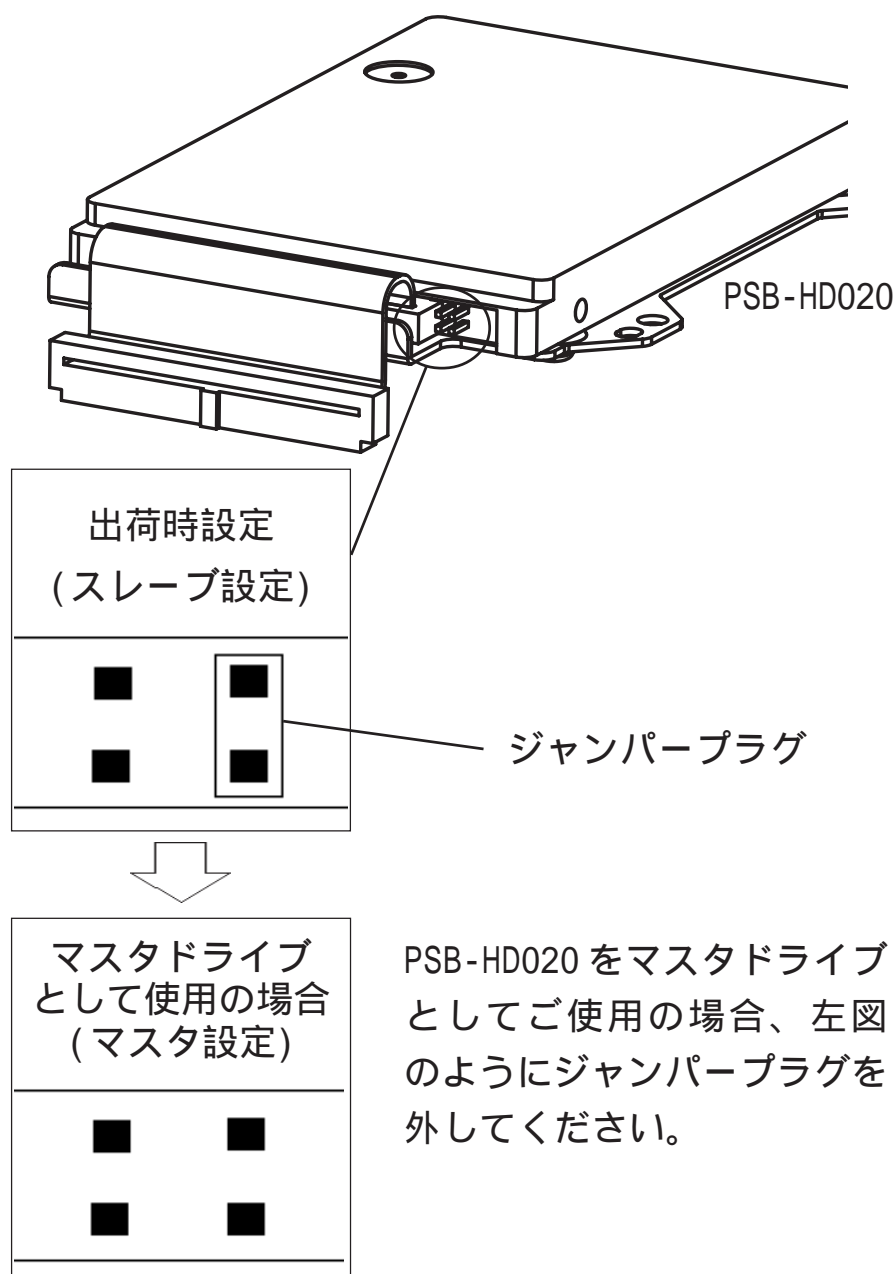
環境仕様

使用周囲温度	5 ~ 50
保存周囲温度	-10 ~ +60
周囲湿度	10 ~ 85%RH (結露のないこと、湿球温度29 以下)
耐ノイズ性 (ノイズシミュレータによる)	ノイズ電圧：1500Vp-p
	パルス幅：50ns、500ns、1μs
耐静電気放電	6kV
耐振動性	動作時 4.9m/s ² (10 ~ 25Hz)
耐衝撃性	輸送時 3920m/s ² (1ms、正弦半波)

- 重要** ・ 環境仕様はPS-Bに組み込んだ場合の仕様です。
- ・ 本製品を使用して格納したデータが、ハードディスクの故障や誤動作・その他どのような理由によって破壊された場合でも、(株)デジタルはデータの保障をいたしかねます。万々に備えて、重要なデータはフロッピーディスク・光磁気ディスクなど適切なメディアにあらかじめバックアップされるようお願いいたします。
- ・ ハードディスクは寿命部品です。性能仕様の寿命データをご配慮の上、保守、メンテナンスを計画的に実施していただきますようお願いいたします。
- ・ ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度29 以下での使用を推奨します。この条件は、例えば気温35 で湿度64%RH、40 で44%RH程度に相当します。

2 ハードディスクユニットの設定

PSB-HD020 は出荷時にスレーブ設定となっていますが、PSB-HD020 をマスタドライブとしてご使用の場合は、PSB-HD020 を以下のように設定してください。



- 重要** ・ PS-B に組み込まれて出荷されたハードディスクは、出荷時設定をマスタにしています。本ユニット(PSB-HD020)を併用してご使用の際には本ユニットをスレーブとして設定してください。
- ・ 上記以外のジャンパープラグの設定では使用しないでください。破損の原因となります。

3 PSB-HD020 の着脱

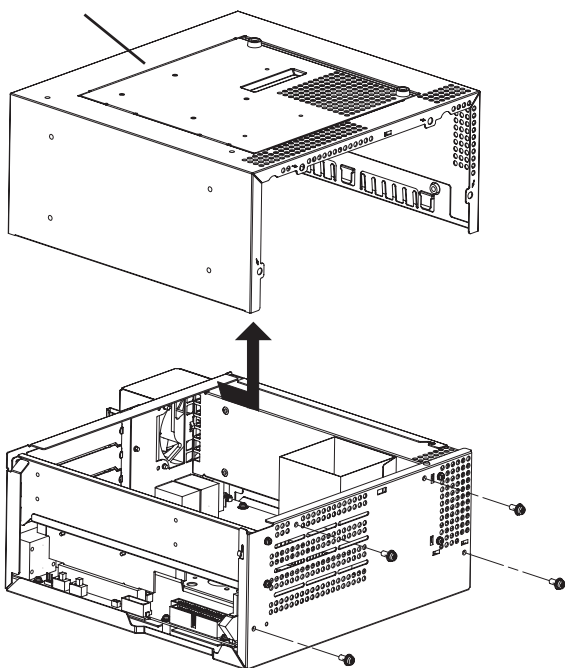
以下の方法で PS-B 本体カバーを取り外し、PSB-HD020 を PS-B へ取り付けてください。



- ・ 感電の恐れがありますので、必ず PS-B の電源を切ってから作業を行ってください。

重要 ・ PSB-HD020 は衝撃に弱い精密機器ですので、取り付け・取り外しの際は衝撃を与えないよう十分ご注意ください。

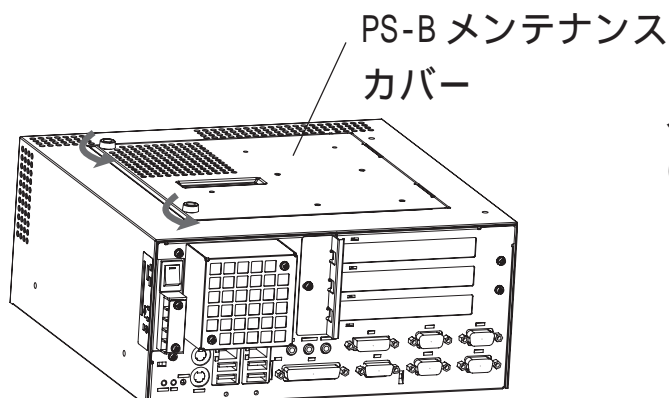
PS-B 本体カバー



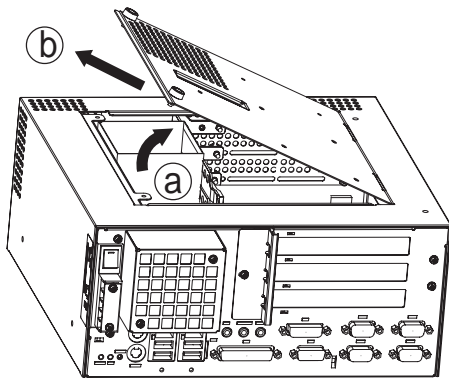
PS-B を水平に置き本体カバーのネジ(4カ所)を外します。

PS-B 本体カバーは矢印の方向に従い、横にスライドさせてから上向きに引き上げて取り外します。
(手順 へ進む)

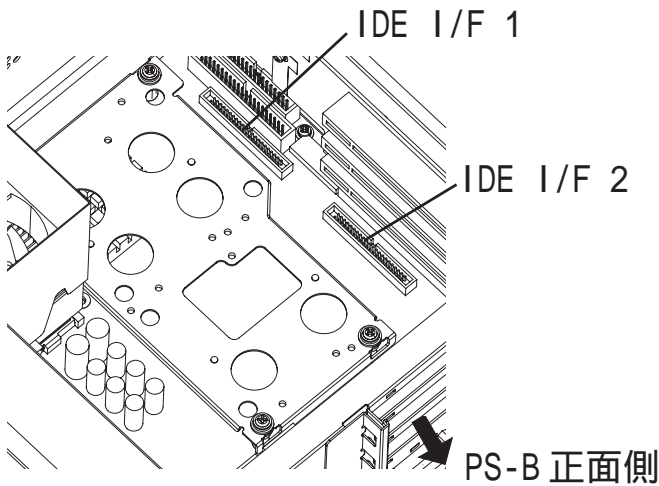
以下の方法で PS-B 本体メンテナンスカバーを外し、PSB-HD020 を PS-B へ取り付けることもできます。



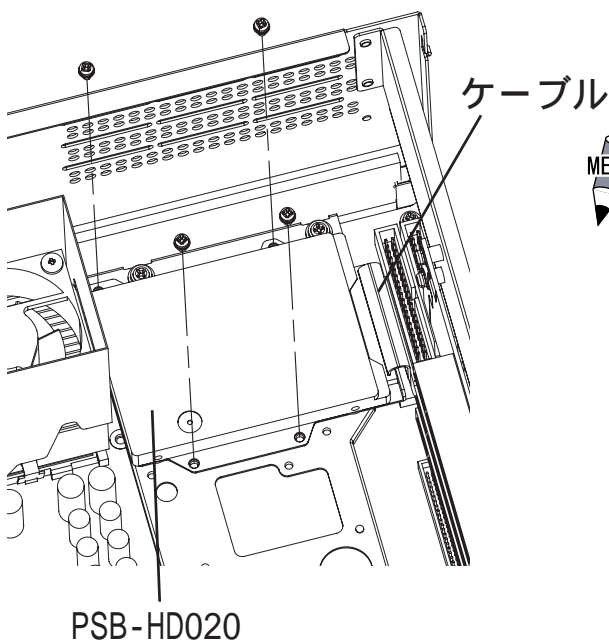
メンテナンスカバーのネジ(2カ所)をゆるめます。



メンテナンスカバーは矢印①の方向に従い上向きに少し引き上げた状態で、矢印②の方向に引き抜いて取り外します。(手順へ進む)



PSB-HD020 のケーブルを左図の IDE I/F 1 に完全に接続されるように差し込みます。



PSB-HD020 を左図のように配置し、ネジ (4カ所) で固定します。締め付けトルクは、 $0.5 \sim 0.6\text{N} \cdot \text{m}$ です。

- MEMO PSB-HD020 を 2 台使用する場合、IDE I/F 2 も使用します。手順 ~ と同様にケーブルを IDE I/F 2 に接続しネジ (4カ所) で固定してください。

PS-B 本体カバーを元に戻してネジ (4カ所) を止めます。締め付けトルクは、 $0.6 \sim 0.8\text{N} \cdot \text{m}$ です。

PS-B メンテナンスカバーを外して作業した場合、メンテナンスカバーを元に戻しネジ (2カ所) を止めます。締め付けトルクは、 $0.5 \sim 0.6\text{N} \cdot \text{m}$ です。

4 ハードウェアセットアップ

- 重要**
- ・ 通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。
 - ・ BIOS画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。



- ・ 以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。

PS-B にキーボードを接続します。

PS-B の電源を ON します。

初期画面が表示されたら、[F2] キーを押して BIOS の Setup 画面に入ります。

Setup 画面の[Standard CMOS Features]画面にて、[IDE Primary Master]、[IDE Primary Slave]からジャンパープラグの設定に合わせて選択してください。以下の画面が表示されます。

([IDE Primary Master] を選択した場合)

Phoenix- AwardBIOS CMOS Setup Utility		
IDE Primary Master		
IDE HDD Auto-Detection	[Press Enter]	Item Help
IDE Primary Master Access Mode	[Auto] [Auto]	Menu Level ▶▶
Capacity	0 MB	To auto-detect the HDD's size, head...on this channel
Cylinder	0	
Head	0	
Precomp	0	
Landing Zone	0	
Sector	0	

:Move Enter:Select +/-/PU/PD:Value F10:Save ESC :Exit F1:General Help
F5:Previous Values F6:Fail-Safe Defaults F7:Optimized Defaults

IDE Primary Master/IDE Primary Slave で [Auto] が選択されているか確認してください。さらに Access Mode で [Auto] が選択されているか確認してください。[Auto] が選択されていない場合は、[Auto] を選択してください。[Auto] が選択されると起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。

[ESC]キーを押して[Save & Exit Setup]を選択し、保存終了してください。

5 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にハードディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステム（MS-DOS[®]やWindows[®]等）でパーティション（記録区画）の作成とフォーマット（初期化）が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL：（06）6613-1101（代）

FAX：（06）6613-5888

URL：<http://www.proface.co.jp/>

PFX121832H .PSB-HD020-MM02 2010.4 JM/A

© Copyright 2002 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.